

歯科研究会

日常の歯科診療に必要な

くすりの知識



抗菌薬、鎮痛薬、歯科診療上問題となる医科処方薬について



講師

堀之内 康文 先生

(九州中央病院
歯科口腔外科部長)

講師のプロフィール

- 昭和 57年 3月 九州大学歯学部卒業
- 57年 6月 九州大学歯学部第二口腔外科医員
- 61年10月 九州大学歯学部第二口腔外科助手
- 平成 11年10月 九州大学歯学部附属病院
高度先端治療部顎変形症治療室長を併任
- 14年 8月 公立学校共済組合九州中央病院
歯科口腔外科 部長
現在に至る

資格 役職

九州大学歯学部臨床教授、熊本大学医学部臨床教授、
福岡歯科大学非常勤講師、日本口腔外科学会認定
専門医・指導医、日本歯科麻酔学会認定医など

*参加対象/協会会員の歯科医師、スタッフ

※定員になり次第締め切ります

※未入会の先生は、入会手続きを済ませて
からご参加ください

会員参加費
無料

抜歯やインプラント、歯周外科などの外科処置後にどのような抗菌薬、鎮痛薬を処方していますか?。P や Per の急発、膿瘍切開、蜂窩織炎などの炎症、感染では何をいつまで投与していますか?。

肝疾患や腎疾患、喘息などの内科疾患のある患者さん、妊娠中や授乳中の患者さんに自信を持って安全な薬を処方していますか?。

高齢者や有病者では医科からの処方薬が多く、歯科で処方する薬剤との相互作用(効果の変化、副作用の発現)や併用禁忌についても詳しく知っておかなければ危険です。医科ほどではないにしても、歯科でも薬の知識は重要です。しかしーから詳しく学ぶ機会は少なく、薬が苦手な先生も多いようです。

今回は、日常の歯科治療で処方する抗菌薬や鎮痛剤の効果的で安全な使い方について基礎からお話し致します。また医科処方薬(抗血栓治療薬、骨粗鬆症治療薬、抗がん剤、ステロイド剤など)がある場合の治療時の注意点について詳しく解説致します。特に骨粗鬆症治療薬については、2016年7月に改訂された薬剤関連性顎骨壊死の新しいポジションペーパーの内容についてもお話しする予定です。

先生方の薬に対するアレルギー(!?)がなくなれば幸いです。

日時 **7月6日(木) 19:30~**

会場 **アバンセ 第3研修室**
佐賀市天神3丁目2-11 ☎0952-26-0011

主催 佐賀県保険医協会

☎(0952)29-1933 FAX23-5218

E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

● ファックス、またはE-mailでお申し込み下さい ●

HP

■ FAX参加申込書

FAX (0952) 23-5218

**日常の歯科診療に
必要なくすりの知識**

抗菌薬、鎮痛薬、歯科診療上問題となる
医科処方薬について

2017.7.6(木)

参加人数	
歯科医師	スタッフ
名	名

医療機関名
----- 会員名
----- 御住所
TEL() -